

資料 1

行 革 第 1 6 号

千葉県行政改革審議会

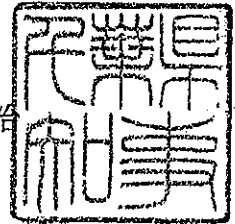
会長 辻 琢也 様

組織の生産性向上に向けた組織・人材改革について（諮問）

このことについて、別紙により諮問します。

平成26年4月15日

千葉県知事 鈴木 栄治



別紙

組織の生産性向上に向けた組織・人材改革について（諮問）

1 諮問の背景

本県では、行政改革計画・財政健全化計画（平成25年10月決定）に基づき、行政改革の推進に努めています。

少子高齢化や地方分権改革に伴う権限委譲の進展など、県を取り巻く環境が急激に変化する中で、多様化する行政需要に的確・迅速に対応するため、県は主体的かつ積極的に行動することが求められています。

一方、今後とも厳しい財政状況が続くことが見込まれ、職員数は抑制せざるを得ない状況にあることから、限られた人的資源で行政サービスの水準を維持・向上させていくことが求められています。

2 審議事項

限られた人材で効率的に業務を執行するため、組織力を高め、組織全体の業務処理能力を向上させていくことが求められています。このため、メンバーに明確な方向性を示し自発的な取り組みを引き出すリーダーシップの発揮等、組織マネジメントの強化を図る必要があります。

また、多様化する行政課題に迅速かつ的確に対応できるよう、個々の職員が持つ能力を十分に引き出すとともに、その能力を高めることが求められています。県の組織力を高めるため、職務遂行に求められる能力とそれを開発するための具体的な取り組みを検討する必要があります。

今後は、年金支給年齢の引き上げに伴うフルタイムの再任用職員の増加が見込まれることから、高齢期職員の業務意欲を維持しつつ、能力を最大限発揮できるような環境づくりを進める必要があります。

以上を踏まえ、本県における組織力の向上、職員の能力開発、高齢期職員が活躍できる職場づくりについて、提言を求めます。